



いまいは今
vol. 260

発行 今井町町並み保存会
発行日 令和4年2月1日
電話 0744-22-1128
<http://www3.kcn.ne.jp/imaicho/>
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp
◇ご意見・ご感想は
今井景観支援センターまで

今井町と真壁町の

400年前のつながり、今も！

デイスカバー まかべ会長

全国町並み保存連盟理事 吾妻周一

それは、平成も押しつまった31年3月3日、近鉄樫原線を八木西口で下車した。蘇武橋を渡ると重伝建地区「今井町」の大きな案内看板があり、QRコードで分かりやすい今井町の情報を教えてくれた。今井町に入ってみると、狭い町割りの中に建つ伝統的町並みに、圧倒されてしまった。ほとんど隙間も無くびっしりとどこまでも続く歴史的建造物の家並み。重伝建制度は、今井町のために出来たという事はこういうことなのかと考えさせられた。

今井町を訪れたのは、全国町並み保存連盟の理事会が開催されるとの事で、何の下調べもしなかった。関東を中心に九州や、倉敷、名古屋等の歴史的町並みを見学してきたが、今井町の町並みには本当に驚愕してしまった。江戸期から昭和初期にかけ



現存する中村家住宅の外観
(茨城県桜川市真壁町)

ての質の高い住居に、多くの不便はあると思うが、今現在も守り続け住んでいる住民の方達にも頭が下がる。国の重要文化財も9件もあると聞く。また、称念寺しかり。茨城に帰り、早速今井町の件を仲間に話したところ、ある会員は家族を連れて今井町を訪問、やはり感動してきたようだ。

ある日、今井町の若林氏から、今井町が私の住む茨城県桜川市真壁町と、江戸初期に大きな関わりを持っていたとの情報があった。それは「綿の道」である。私が住んでいる真壁町は、平安時代より戦国時代まで、430年間真壁氏がこの地を治めて

いたが、その後、江戸時代には浅野氏の領地となり、真壁の町割りを造り、在郷町として大変栄えた。この町割りがそのまま今に残り、その中に江戸後期、昭和初期の伝統的建造物(様々な建築様式、門等)が点在している。

中村作右衛門家はその中でも、江戸初期から大きく商いをしており、その中村家より、大和国との商取引の帳面が保存されており、今井町との商取引(繰綿や綿織物)が年に数百両もされていた事が棚卸しとして書かれていたのである。繰綿仕入れを今井町等の繰綿問屋で行い、その仕入れ金は飛脚便で届けたという。集められた繰綿は大阪に送られ、海路江戸に向かい、その後は河川路等で真壁に運ばれた。真壁の商人はそれを近くの村々に売りさばいたり、東北地方まで販路を延ばしたという。

現在の交通状況とは全く異なる江戸初期の頃に、今井町と深い関係があった事実、そして町並み保存活動が縁で若林氏と知り合い、そして今回は真壁の仲間(前記、中村家の親戚筋の者も)と今井町を訪れた。今井町と私たちの住んでいる真壁との再びの繋がり、歴史の流れ、縁というものを深く考えさせられた。これからも歴史的町並みを活かしたまちづくりのために、今井町の方達と情報交換、交流をしたいと思います。

檀原市 ふるさと納税

ー 今井町の産品紹介⑤ ー

1月18日夕方、今井小学校体育館の西隣にある「株式会社 南都衛材製作所」を訪問して、常務取締役の植田浩和さんに取材させていただきました。

当社は、婦人肌着のメーカーとして60年以上の歴史のある会社で、檀原市がふるさと納税制度を始めた時から産品を提供しています。

品目は、シルク腹巻(4色、単品か2枚組)、失禁シヨーツ(2色1組)、3層構造エチケツトマスク(抗菌抗ウイルス機能繊維≒3色から2色選択)で、一番人気はシルクの腹巻で昨年末には20件程度の申込みがあったそうです。

新たな品目として、近年話題となっている世界的なフエムテック(女性特有の健康課題を解決する技術・製品・サービス)の流れに応じた吸水シヨーツを開発中とのことでした。

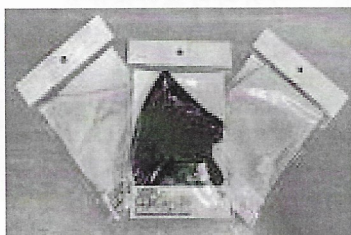
シルク腹巻



失禁シヨーツ



エチケツトマスク



お店の正面

1月19日午後、南尊坊通りの「N.N.Trading Japan(エヌ.エヌ.トレディングジャパン)」を訪れ、店長の櫻井夏江さんにいろいろ話を伺いました。

この店は、2019年6月の開店で、取り扱い商品は天然石と14Kゴールドワールド(金張り)のアクセサリと、猫に関係ある雑貨と、シルバークラックアクセサリで、お客さんは幅広い年齢層の女性に親しまれています。ふるさと納税への産品提供は、昨年4月からです。

その品目は、誕生石(12カ月分)のピアス(イヤリング)と、天然石のブレスレット

天然石ブレスレット



8種類と、奈良の苺をイメージしたピアス(イヤリング)で、産品の価格帯が多くの方々に受け入れられたのか、昨年12月には40件位の申込みがあったそうです。

全国町並みゼミ

第2分科会「建築物」に参加して

副会長 中西知

第2分科会のテーマは「町家の継承の考え方ーまちの資産のいかし方・なにをだれがどのようにー」です。

山口県萩市の大槻洋二さんは、4つの重伝建地区がある萩市では、外部の人には珍しい日常の暮らしの中での身近な文化財の見つけ出しを通じて「まちじゅう博物館」活動を進めているとの事で、なるほど面白い着眼だと感じました。

奈良市の藤岡龍介さんは、奈良町で世代交代が進む中で若い人達に民家の魅力や価値を気付かせて、古い町屋を戻す・直す・新しく作る事によって暮らしの変化に対応する再生を図り、登録文化財を増やしているとの報告。

福岡県八女市の北島力さんは、空き家住宅の住民の入れ替わり定住推進には、転居希望者との面談が不可欠であり、相互理解の上、転居後は新住民とのコミュニケーションの作り方が重要であると発表されました。

今井往来

2月25日 19時〜21時フジテレビ

「爆買スター恩返し」放映(予定)

大成中出身のロッチ中岡さんが口ケ出演